

日本の植民地下台湾におけるハンセン病問題資料目録

平 田 勝 政

A Bibliography on the Problems of Hansen's Disease in Taiwan under the Rule of Japan

Katsumasa HIRATA

はじめに

本資料目録は、『近現代日本ハンセン病問題資料集成』(不二出版)の補巻7(台湾におけるハンセン病政策)の編集に際し、その基礎作業として作成されたものである。補巻7に収録する日本統治下の台湾ハンセン病問題研究の基本資料(治療法等の医学・医療面は除く)を下記の①②③に示す復刻版や主要先行研究を踏まえながら、それらを再点検し、筆者なりに補充・補正して作成されたものである。

①近現代資料刊行会『植民地社会事業関係資料集〔台湾編〕』(第19~21巻, 50巻) 2000~2001年

②清水寛「植民地台湾におけるハンセン病政策とその実態」(近現代資料刊行会『植民地社会事業関係資料集〔台湾編〕』別冊, 2001年

③藤野豊『「いのち」の近代史』(かもがわ出版) 2001年

*特に「V 植民地・占領地のハンセン病政策」の「第二章 台湾」

そもそも筆者の台湾への関心は、日本で最初の優生運動を展開した大日本優生会の理事である阿部文夫が1919年に台北農林専門学校教授として渡台し、台湾で優生運動を推進するが、その影響が台湾の障害者・ハンセン病患者等の救済・保護・教育等にどう現われていったのかを解明したいという動機からであった。2003年2月中旬に台湾大学と国立中央図書館台湾分館に最初の調査に赴いて以降、今日まで筆者の重要関心事としてあり続けてきた。

本目録の構成は、まず基本資料である台湾総督府楽生院の年報を(A), 同院慰安会機関誌「萬寿果」を(B), 台湾癩予防協会の各年度事業概況を(C), としてそれぞれ一括して整理した。それ以外の主に雑誌を中心とする台湾ハンセン病問題資料を(D)として年代順に配列・編成した。(D)が対象とした主な雑誌は、「台湾時報」, 「台湾警察協会雑誌」→「台湾警察時報」, 「台湾医事雑誌」→「台湾医学会雑誌」, 「レプラ」, 「社会事業の友」等である。文献検索に際しては、中島利郎編の『「台湾時報」総目録』と『「台湾警察協会雑誌」「台湾警察時報」総目録』(ともに緑蔭書房)を活用させていただいた。「社会事業の友」誌は、社会事業史文献調査会編『社会事業雑誌目次総覧(第16巻)』(日本図書センター)を利用した。但し、欠落している78号, 171号, 178号は補充した。3号と31号が未確認である。

「台湾日日新報」等の台湾関係新聞におけるハンセン病問題資料については、調査・収集が完了していないため、楽生院の落成式の記事のみを含めた。他日、新聞編の目録を公表していきたい。備考欄中の●印は、『近現代日本ハンセン病問題資料集成』(補巻7)に収録されたものを意味する。◎印は、上記①の『植民地社会事業関係資料集〔台湾編〕』に収録済であることを意味する。(D)の備考欄中の*印は、上記②の清水論文が整理した「社会事業の友」誌の関係資料目録を踏まえながら筆者が追加・補正したものを意味する。また、Mは明治, Tは大正, Sは昭和の略である。

最後に、本目録作成にあたり、不二出版の山本有紀乃さんには多大の協力・援助をいただいた。また雑誌資料等の収集には長崎大学図書館(特に医学部分館)をはじめ多くの図書館に複写依頼で直接・間接にお世話になった。心より謝意を表します。

(A) 台湾総督府楽生院・年報

No.	資料名	発行所	頁	発行年月	備考
1	昭和五、六年統計年報	台湾総督府楽生院	全40頁	1933(S. 8) - 8	①台湾編19所収 ◎
2	昭和七年年報	台湾総督府楽生院	全54頁	1934(S. 9) - 3	◎
3	昭和八年年報	台湾総督府楽生院	全32頁	1934(S. 9) - 11	◎
4	昭和九年年報	台湾総督府楽生院	全37頁	1936(S.11) - 2	◎
5	昭和十年年報	台湾総督府楽生院	全71頁	1936(S.11) - 12	①台湾編19所収 ◎
6	昭和十一年年報	台湾総督府楽生院	全??頁	193?(S.1?) - ?	不明
7	昭和十二年年報	台湾総督府楽生院	全66頁	1938(S.13) - 4	①台湾編19所収 ◎
8	昭和十三年年報	台湾総督府楽生院	全68頁	1939(S.14) - 7	①台湾編19所収 ◎
9	昭和十四年年報	台湾総督府楽生院	全66頁	1940(S.15) - 10	①台湾編19所収 ◎
10	昭和十五年年報	台湾総督府楽生院	全74頁	1941(S.16) - 10	①台湾編19所収 ◎
11	昭和十六年年報	台湾総督府楽生院	全84頁	1942(S.17) - 11	①台湾編20所収 ◎
12	昭和十七年年報	台湾総督府楽生院	全62頁	1943(S.18) - 9	①台湾編20所収 ◎
13	昭和十八年年報	台湾総督府楽生院	全45頁	1944(S.19) - 11	①台湾編20所収 ◎

(B) 楽生院慰安会機関誌「萬寿果」発行一覧

No.	誌名/巻号	発行年月	全頁	院内日誌の記載期間, 等	備考
1	「萬寿果」創刊号	1934(S. 9)年5月頃	?	原本不明(謄写版) 巻頭言は、D-68の18~19頁参照	未見
2	「萬寿果」第2号	1934(S. 9)年?月	?	発行不明	?
3	「萬寿果」(皇太后陛下御仁慈感激記念号)	1935(S.10)年4月	68	1935. 1. 1~3. 18 (謄写版)	◎
4	「萬寿果」第2巻第1号	1935(S.10)年?月	?	原本不明(謄写版)	未見
5	「萬寿果」第2巻第2号	1935(S.10)年9月	27	1935. 5. 2~8. 31 (27頁)	◎
6	「萬寿果」第2巻第3号	年月		発行不明	?
7	「萬寿果」第3巻第1号	1936(S.11)年2月	50	院内日誌の記載なし	◎
8	「萬寿果」第3巻第2号	1936(S.11)年8月	73	1936. 4. 7~7. 25 (10~22頁)	◎
9	「萬寿果」第3巻第3号	1937(S.12)年1月	64	1936. 7. 30~11. 26 (25~28頁)	◎
10	「萬寿果」第4巻第1号	1937(S.12)年3月	52	1936. 11. 27~1937. 2. 15 (52頁)	◎
11	「萬寿果」第4巻第2号	1937(S.12)年6月	58	1937. 2. 15~5. 6 (20~22頁)	◎
12	「萬寿果」第4巻第3号	1937(S.12)年9月	70	1937. 5. 9~7. 25 (43~45頁)	◎
13	「萬寿果」第4巻第4号	1937(S.12)年12月	56	1937. 8. 10~11. 10 (56頁)	◎
14	「萬寿果」第5巻第1号	1938(S.13)年2月	76	1937. 11. 12~1938. 2. 11 (75頁)	◎
15	「萬寿果」第5巻第2号	1938(S.13)年6月	46	1938. 2. 15~5. 27 (44~45頁)	◎
16	「萬寿果」第5巻第3号	1938(S.13)年12月	60	1938. 6. 5~12. 7 (35~36頁)	◎
17	「萬寿果」第6巻第1号	1939(S.14)年4月	44	1938. 12. 11~1939. 3. 28 (43頁)	◎
18	「萬寿果」第6巻第2号	1939(S.14)年6月	57	1939. 4. 1~5. 31 (57頁)	◎
19	「萬寿果」第6巻第3号	1939(S.14)年12月	58	1939. 6. 1~11. 21 (57~58頁)	◎
20	「萬寿果」第7巻第1号	1940(S.15)年2月	50	1939. 11. 22~1940. 1. 16 (49頁)	◎
21	「萬寿果」第7巻第2号	1940(S.15)年?月	?	原本不明	未見
22	「萬寿果」第7巻第3号	1940(S.15)年8月	42	1940. 4. 9~8. 10 (37~40頁)	◎
23	「萬寿果」第7巻第4号	1941(S.16)年1月	81	1940. 8. 13~12. 21 (81頁)	◎
24	「萬寿果」第8巻第1号	1941(S.16)年4月	53	1940. 12. 24~1941. 2. 28 (37頁)	◎
25	「萬寿果」第8巻第2号	1941(S.16)年7月	48	1941. 3. 1~6. 27 (12~15頁)	◎
26	「萬寿果」第8巻第3号	1941(S.16)年10月	61	1941. 6. 31~9. 15 (28~30頁)	◎
27	「萬寿果」第8巻第4号	1942(S.17)年?月	?	原本不明	未見
28	「萬寿果」第9巻第1号	1942(S.17)年5月	50	1941. 12. 31~1942. 2. 25 (21~24頁)	◎
29	「萬寿果」第9巻第2号	1942(S.17)年月	?	原本不明	未見
30	「萬寿果」第9巻第3号	年月	?	発行不明	?
31	「萬寿果」第10巻第1号	1943(S.18)年8月	22	1943. 1. 2~6. 30 (20~21頁)	◎
32	「萬寿果」第10巻第2号	1944(S.19)年1月	22	1943. 7. 5~11. 25 (14~17頁)	◎
33	「萬寿果」第11巻第1号	1944(S.19)年?月	?	原本不明, 11巻の号数も不明	未見
34	「萬寿果」第11巻第2号		?	発行不明	?

注) 院内日誌の記載期間を手がかりにこの一覧を作成し、「萬寿果」の創刊号から第11巻までの全発行号数を把握しようと試みた。推計では、通巻34号(34冊)前後で、現存して補巻7に収録(備考欄◎印, すべて抄録)されたのが24冊, 原本不明が6冊, 発行不明が4冊である。2巻1号までが謄写版で、現存するNo.3は判読不能に近い状態である。萬寿果とは、パパイヤの別名である。

(C) 台湾癩予防協会事業概況書（財団法人台湾癩予防協会発行）

No.	資料名(表紙)	資料名(内表紙)	頁	発行月日	備考
1	昭和八年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第一回事業概況書	全47頁	1935(S.10)-2	●
2	昭和九年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第二回事業概況書	全49頁	193?(S.1?)-?	●
3	昭和十年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第三回事業概況書	全53頁	1937(S.12)-3	①台湾編21所収 ◎
4	昭和十一年度事業概況書		全61頁	1937(S.12)-5	①台湾編21所収 ◎
5	昭和十二年度事業概況書		全69頁	1938(S.13)-4	①台湾編21所収 ◎
6	昭和十三年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第六回事業概況書	全59頁	1939(S.14)-4	①台湾編21所収 ◎
7	昭和十四年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第七回事業概況書	全58頁	1940(S.15)-12	●
8	昭和十五年度事業概況書	財団法人台湾癩予防協会第八回事業概況書	全??頁	1942(S.17)-4	●

(D) 台湾ハンセン病問題関係資料目録（雑誌編）

No.	著者名	論文・資料名	誌名・巻号/発行所	頁	発行月日	備考
1	青木 大勇	癩院設置の必要を論ず	「台湾医事雑誌」第3編 第6・7号	289-299	1901(M.34)-8	●*
2	宮原 敦	台湾ノ癩人(第一)	「皮膚科及泌尿器科雑誌」 第19巻第4号	259-285	1919(T.8)-4	*
3	宮原 敦	台湾ノ癩人(第二)	「皮膚科及泌尿器科雑誌」 第19巻第5号	382-408	1919(T.8)-4	*
4	宮原 敦	台湾ノ癩人 No.2・3を修正加筆	「台湾医学会雑誌」第201号	734-806	1919(T.8)-7	●*
5	坂田 寅吉 (花蓮療養部)	癩患者取締及救済施設	「台湾警察協会雑誌」第58号	14-22	1922(T.11)-3	●*
6	光田 健輔	台湾癩予防法制定ニ関スル意見書 (『光田健輔と日本のらい予防事業』所収)			1925年(推定)	
7	宮原 敦	台湾癩人の回顧	「南日本」第 巻第 号		1925(T.14)-	調査中
8	ジー・グシ ウ・テイラー (馬階医院 院長)	癩病撲滅に就て *第1回全島社会事業大会(1928. 10.20~21)の講演記録	「社会事業の友」第1号	31-33	1928(S.3)-11	●
9		(雑報)本島の癩病患者と肺結核病	「社会事業の友」第1号	107-108	1929(S.4)-2	●
10	台湾総督府 警務局衛生課	台湾に於ける精神病者並に肺結核及癩 病患者調査	「日本公衆保健協会雑誌」 第6巻第4号	189-196	1930(S.5)-4	*
11	上川 豊	何が日本を癩病國にしたか	「社会事業の友」第24号	19-26	1930(S.5)-11	●
12		癩患者の楽園 台湾総督府楽生院	「社会事業の友」第24号	91-92	1930(S.5)-11	●
13		ティラー博士の光栄 *原文(英文)付	「社会事業の友」第25号	39-40	1930(S.5)-12	●
*		癩療養所楽生院,盛大に落成式を挙 (総督祝辞,上川院長の式辞)	「台湾日日新報」第11015号	7面	1930.12.13	●*
14	上川 豊	千載の一遇	「社会事業の友」第27号 (癩問題号)	1-2	1931(S.6)-2	●
15	野口 敏治	癩問題号発行に際して	「社会事業の友」第27号	3-5	1931(S.6)-2	●
16	石井 保	台湾に於ける癩に就て	「社会事業の友」第27号	6-10	1931(S.6)-2	●
17	養和藤治郎	癩問題に就て	「社会事業の友」第27号	11-12	1931(S.6)-2	●
18	小林 正金	社会事業としての癩問題	「社会事業の友」第27号	13-18	1931(S.6)-2	●
19	高野 六郎	癩予防救済協会創設の必要を論ず	「社会事業の友」第27号	19-20	1931(S.6)-2	●
20	中條 資俊	癩問題の新紀元	「社会事業の友」第27号	21-24	1931(S.6)-2	●
21	後藤 静香	癩病根絶運動と希望社	「社会事業の友」第27号	25-27	1931(S.6)-2	●
22	内田 守人	癩患者と文芸生活	「社会事業の友」第27号	28-55	1931(S.6)-2	●
23	相田 良雄	療病の根絶問題に就て	「社会事業の友」第27号	56-64	1931(S.6)-2	●
24	土肥 慶蔵	癩の世界流行史略	「社会事業の友」第27号	65-69	1931(S.6)-2	●
25		安達内相の示した癩病撲滅案	「社会事業の友」第27号	70	1931(S.6)-2	●
26	青木 大勇	癩の予防撲滅法に関する改善意見	「社会事業の友」第27号	71-94	1931(S.6)-2	●
27	河村 正之	那威國ベルゲン癩療養所視察旅行記並 に感想	「社会事業の友」第27号	95-97	1931(S.6)-2	●

No.	著者名	論文・資料名	誌名・巻号/発行所	頁	発行月日	備考
28	小林和二郎	布哇に於ける癩の救療施設に就て	「社会事業の友」第27号	98-102	1931(S.6)-2	◎
29	矢澤俊一郎	朝鮮に於ける公私癩療養施設に就て	「社会事業の友」第27号	103-107	1931(S.6)-2	◎
30	上川 豊	台湾には癩病人が果して幾千人あるでしょうか	「社会事業の友」第27号	108-111	1931(S.6)-2	◎
31	上川 豊	癩予防根絶事業と社会的運動	「社会事業の友」第27号	112-121	1931(S.6)-2	◎
32	ジー・グシ ュー・テイ ラー	国際聯盟と癩	「社会事業の友」第27号	122-127	1931(S.6)-2	◎
33	堀内 次雄	癩は遺伝病か将た伝染病か	「社会事業の友」第27号	128-131	1931(S.6)-2	◎
34	宮原 敦	台湾対癩策管見	「社会事業の友」第27号	132-138	1931(S.6)-2	◎
35	宮原 敦	台湾の養濟院(癩人収容隔離所)	「社会事業の友」第27号	139-144	1931(S.6)-2	◎
36	パーシー・ チール	台湾に於ける癩問題	「社会事業の友」第27号	145-146	1931(S.6)-2	◎
37	有住左武郎	所感	「社会事業の友」第27号	147-148	1931(S.6)-2	◎
38	中村不羈児	台湾に癩療養所の設置せらるるまで	「社会事業の友」第27号	149-158	1931(S.6)-2	◎
39	林 文雄	全生病院の生活	「社会事業の友」第27号	159-164	1931(S.6)-2	◎
40	野島 泰治	大島療養所に於ける癩患者の日常生活	「社会事業の友」第27号	165-176	1931(S.6)-2	◎
41	榊原五百枝	九州療養所に於ける患者の日常	「社会事業の友」第27号	177-187	1931(S.6)-2	◎
42	上川(記)	鈴蘭園	「社会事業の友」第27号	188-189	1931(S.6)-2	◎
43	李 維湘	楽生院の現状に就て	「社会事業の友」第27号	190-192	1931(S.6)-2	◎
44	石松 量蔵	清正公と熊本癩病	「社会事業の友」第27号	193-196	1931(S.6)-2	◎
45	加藤 七三	最近の感想	「社会事業の友」第27号	197	1931(S.6)-2	◎
46	林 芳信	癩病に関する感想	「社会事業の友」第27号	198-199	1931(S.6)-2	◎
47	杉本 良	その頃の話	「社会事業の友」第27号	200-202	1931(S.6)-2	◎
48	間宮 英宗	路傍の癩人	「社会事業の友」第27号	203-204	1931(S.6)-2	◎
49	坂本 登	癩療養所建物計画に就て	「社会事業の友」第27号	205-208	1931(S.6)-2	◎
50	遠山 郁三	文化と癩病	「社会事業の友」第27号	209-211	1931(S.6)-2	◎
51		(資料) 世界各国の癩患者数/官公立 癩療養所一覧/私立癩療養所の概況/ 関係法令(全18頁)	「社会事業の友」第27号	212-218	1931(S.6)-2	◎
52		台湾総督府癩療養所楽生院案内			1931(S.6)-?	◎
53	上川 豊	楽生院の使命 *別刷あり(全13頁)	「台湾時報」第136号	1-8	1931(S.6)-3	◎
54	上川 豊	癩問題に就て *第三回全島社会事業大会の講演抄録	「社会事業の友」第29号	61-62 141-143	1931(S.6)-4	◎
55	李 寄 生	毒蛇の救い *癩に関する迷信伝説	「台日グラフ」第???号		1931(S.6)-4	未見*
56	上川 豊	改正癩予防法に就いて(1)	「台湾警察時報」第45号	28-31	1932(S.7)-1	*
57	上川 豊	改正癩予防法に就いて(2)	「台湾警察時報」第46号	10-12	1932(S.7)-2	*
58	上川 豊	昭和七年の台湾癩問題を展望して	「社会事業の友」第39号	27-30	1932(S.7)-2	◎
59	上川 豊	改正癩予防法に就いて(3)	「台湾警察時報」第47号	8-13	1932(S.7)-3	*
60	上川 豊	癩問題に就て	「社会事業の友」第41号	61-73	1932(S.7)-4	◎
61	ジー・グシ ュー・テイ ラー	楽山園に就いて *原文(英文)付	「社会事業の友」第57号	45-52	1933(S.8)-8	◎
62	有住左武郎	台湾は数十年で癩から救はれ得る	「社会事業の友」第60号	37-40	1933(S.8)-11	◎*
63	上川 豊	癩救済事業から見た日支親善	「台湾時報」第171号	43-46	1934(S.9)-2	◎*
64		財団法人私立楽山園寄付行為		全7頁	1934(S.9)	◎
65	石垣 倉治	台湾の癩問題	「社会事業の友」第67号 (癩予防問題号)	1	1934(S.9)-6	◎
66	玉野代治郎	台湾よ癩根絶に於て先進たれ	「社会事業の友」第67号	2-5	1934(S.9)-6	◎
67	高橋 秀人	台湾癩予防協会の使命と其の事業計画	「社会事業の友」第67号	6-11	1934(S.9)-6	◎
68	上川 豊	内台癩病観の異同	「社会事業の友」第67号	12-19	1934(S.9)-6	◎
69	ジー・グシ ウ・テイ ラー	楽山園の事業と其の前途	「社会事業の友」第67号	20-25	1934(S.9)-6	◎
70	松 岡 生	蘭領印度癩病予防記録	「社会事業の友」第67号	26-41	1934(S.9)-6	◎
71	松岡冬樹生	蘭領印度癩病予防記録(その二)	「社会事業の友」第68号	14-31	1934(S.9)-7	◎
72	高橋 秀人	癩予防日に際して	「社会事業の友」第68号	32-35	1934(S.9)-7	◎
73	松岡冬樹生	蘭領印度癩病予防記録(その三)	「社会事業の友」第70号	86-102	1934(S.9)-9	◎

No.	著者名	論文・資料名	誌名・巻号/発行所	頁	発行月日	備考
74	浪花生	癩病と迷信	「台湾警察時報」第227号	120-121	1934(S.9)-10	◎*
75	松岡冬樹	蘭領印度癩病予防記録(その四)	「社会事業の友」第72号	73-85	1934(S.9)-11	◎*
76	松岡冬樹生	蘭領印度癩病予防記録(その五)	「社会事業の友」第72号	86-101	1934(S.9)-11	◎
77	上川豊	法律癩予防法に就て	「社会事業の友」第74号	152-158	1935(S.10)-1	◎
78	原忠雄 (台湾MTL・会員)	「恵の日」に就て(癩問題) *台湾MTL(1934.6.23発会式)	「社会事業の友」第74号	159-164	1935(S.10)-1	◎
79	上川豊	賜謁の恩寵に浴して	「社会事業の友」第77号	60-65	1935(S.10)-4	◎
80	台湾癩予防協会	『台湾の癩根絶策に就て』	台湾癩予防協会	全23頁	1935(S.10)-5	◎*
81	台湾MTL	『我等と癩問題』(台湾MTLパンフレット)	台湾MTL	全12頁	1935(S.10)-?	◎
82	林文雄	始政四十年にして尚癩多し	「社会事業の友」第81号	45-50	1935(S.10)-8	◎
83	上川豊	癩の再認識	「社会事業の友」第82号	90-94	1935(S.10)-9	◎*
84	波留子	返らぬ悔	「社会事業の友」第86号	76-84	1936(S.11)-1	◎*
85	劉生	支那の癩	「社会事業の友」第87号	64-70	1936(S.11)-2	◎
86	山本和雄	或る癩者の話し	「社会事業の友」第88号	78-82	1936(S.11)-3	◎
87	中山侑	楽生院訪問記	「台湾警察時報」第253号	72-76	1936(S.11)-12	*
88	丘純一郎	癩に関する覚書	「社会事業の友」第89号	63-69	1936(S.11)-4	◎
89	蘇維態	台湾俚諺に現はれたる癩病(癩哥)	「社会事業の友」第91号	69-71	1936(S.11)-6	◎
90	林文漢	癩病について	「社会事業の友」第91号	72-76	1936(S.11)-6	◎
91	小林茂村	癩に関する口碑伝説(古書に現はれた 各国の癩)	「社会事業の友」第92号	70-75	1936(S.11)-7	◎
92	内田長平	癩の生理め事件	「社会事業の友」第92号	76-80	1936(S.11)-7	◎
93	H・H生	台湾MLT主催：台湾の癩を語る座談 会傍聴記 *1936.6.16開催	「社会事業の友」第92号	81-86	1936(S.11)-7	◎
94	台湾癩予防協会	『癩の伝説と実話』 *No84,85,86,88,89,90,91,92を収録	台湾癩予防協会	全47頁	1936(S.11)-8	◎
95	岡部松五郎	託児所と癩療養所を訪ふ	「社会事業の友」第93号	58-63	1936(S.11)-8	
96	柴山武矩	愛生園の争擾に絡む感想	「社会事業の友」第95号	71-75	1936(S.11)-10	◎
97	南風原秀一	養神院・楽生院・見学記-養神院-	「社会事業の友」第97号	99-107	1936(S.11)-12	
98	南風原秀一	救癩事業従事者の熱と誠-楽生院-	「社会事業の友」第97号	108-111	1936(S.11)-12	◎
99	柴山武矩	救癩問答：上川博士に問ふ	「社会事業の友」第98号	49-52	1937(S.12)-1	◎
100	上川豊	救癩問答：柴山さんに答ふ(その一)	「社会事業の友」第98号	52-58	1937(S.12)-1	◎
101	上川豊	本島における癩患者数の調査-柴山さん に答ふ(その二)-	「社会事業の友」第99号	27-35	1937(S.12)-2	◎
102	上川豊	台湾の癩救済根絶計画案-柴山さん に答ふ(その三)-	「社会事業の友」第100号	44-61	1937(S.12)-3	◎
103		財団法人私立楽山園事業概要	財団法人私立楽山園発行	全8頁	1937(S.12)-4	◎◎
104	加藤重喜	台湾癩予防協会の概況	「社会事業の友」第103号 (癩浄化特輯)	2-7	1937(S.12)-6	◎
105	上川豊	癩伝染の実例と其予防心得	「社会事業の友」第103号	8-13	1937(S.12)-6	◎
106	近森一貫	台湾の癩はどうなる?	「社会事業の友」第103号	14-15	1937(S.12)-6	◎
107	ヒュー・マクミラン	私立楽山園の事業概要	「社会事業の友」第103号	16	1937(S.12)-6	◎
108	桜井憲三	癩の1坪住宅運動	「社会事業の友」第103号	17-20	1937(S.12)-6	◎
109	柴山武矩	癩特輯に寄す	「社会事業の友」第103号	21-25	1937(S.12)-6	◎
110	台湾癩予防協会選	癩患者の文芸作品 ①宮崎勝雄：実話 姉弟相擁して泣く ②中尾幸子：大樹の下に ③相本安夫：小説 癩人 ④短歌/俳句/詩	「社会事業の友」第103号	26-43 26-31 31-35 35-41 41-43	1937(S.12)-6	
111	柴山武矩	楽生院秀歌集	「社会事業の友」第106号	25-28	1937(S.12)-9	
112	ハアライ・ エー・フラ ンク著/伊 藤与三郎訳	モロカイ、カラウパパ半島の楽生園を 尋ねて	「社会事業の友」第109号	63-72	1937(S.12)-12	◎*

No.	著者名	論文・資料名	誌名・巻号/発行所	頁	発行月日	備考
113	柴山 武矩	楽生院歌集	「台湾時報」第219号	100-	1938(S.13)-2	*
114	デー・クシュー ・ティラー	国際癩会議に出席して(原文と訳文)	「社会事業の友」第115号	38-42	1938(S.13)-6	●
115	福留 栄	事変と楽生院	「社会事業の友」第115号	43-44	1938(S.13)-6	●
116	中山 侑	北条民雄の死	「社会事業の友」第115号	45-49	1938(S.13)-6	●
117	柴山 武矩	恐ろしい事実	「社会事業の友」第115号	70-72	1938(S.13)-6	●*
118	上川 豊	再び拝謁の光榮に浴して	「社会事業の友」第116号	9-14	1938(S.13)-7	●
119	東方 生	癩病と迷信	「台湾警察時報」第273号	25	1938(S.13)-8	●*
120	志能鏞川・ 桑田紀行	特殊病院訪問記(一) - 更生院と楽生院 - *「楽生院の巻」(110-121頁)	「台湾警察時報」第273号	104-121	1938(S.13)-8	●*
121	柴山 武矩	流れゆく	「社会事業の友」第120号	38-42	1938(S.13)-11	●*
122	柴山 武矩	流れゆく(続)	「社会事業の友」第122号	60-62	1939(S.14)-1	●*
123	上川 豊	癩患者に施せる断種術に就て	「皮膚科泌尿器科雑誌」 第46巻第2号	181	1939(S.14)-2	●*
124	上川 豊	癩と断種法	「台湾警察時報」第281号	39-43	1939(S.14)-4	●*
125		(厚生通信) 癩者の安住地, 癩療養所の拡張, 厚生省の力こぶ	「社会事業の友」第125号	70-71	1939(S.14)-4	●
126	上川 豊	台湾を癩より浄めよ/赤坂御苑に実生へし御楓を拝受して	「社会事業の友」第127号 (癩予防特輯: 国民浄化)	2-6	1939(S.14)-6	●
127	上川 豊	台湾の癩と南支那の癩	「社会事業の友」第127号	7-29	1939(S.14)-6	●
128	福留 栄	癩患者より受ける相談と癩患者の家族なるが故の悩み	「社会事業の友」第127号	30-38	1939(S.14)-6	●
129	柴山 武矩	宣伝と目標	「社会事業の友」第127号	39-43	1939(S.14)-6	●
130	堀江 琢郎 (楽生院事務局長)	癩患者はなぜ逃げたりするか	「社会事業の友」第127号	44-47	1939(S.14)-6	●
131	行川 信吾	癩院生活の実相 - 療養日記 -	「社会事業の友」第127号	48-60	1939(S.14)-6	●
132	柴山 武矩	小島の春を読む* 新生寮の写真: 65頁	「社会事業の友」第127号	62-65	1939(S.14)-6	●
133	佐久間南山 ほか	癩者の歌へる	「社会事業の友」第127号	66-69	1939(S.14)-6	●
134		楽生院の綴り方教室 - 楽生学園児童の作品 -	「社会事業の友」第127号	70-73	1939(S.14)-6	●
135	宮崎 勝雄	(癩院小説) 病友	「社会事業の友」第127号	74-82	1939(S.14)-6	●
136	宮崎 勝雄	癩院実話・癩と知って	「社会事業の友」第132号	32-43	1939(S.14)-11	●
137	宮崎 勝雄	癩院実話・入院の日	「社会事業の友」第133号	28-38	1939(S.14)-12	●
138	上川 豊	一日戦死の心持	「台湾警察時報」第290号	80-86	1940(S.15)-1	*
139	上川 豊	癩傷痍軍人の銃後生活	「社会事業の友」第139号	46-47	1940(S.15)-6	●
140	宮崎 勝雄	(創作) 入院当時	「社会事業の友」第139号	48-56	1940(S.15)-6	*
141	宮崎 勝雄	患者さまざま(癩院創作)	「社会事業の友」第142号	29-37	1940(S.15)-9	●
142	行川 信吾	雨降り日記(癩院日記)	「社会事業の友」第148号	50-57	1941(S.16)-3	●
143	瀧坂陽之助	癩者の短歌	「社会事業の友」第149号	78-81	1941(S.16)-4	●
144	宮崎 勝雄	(創作) 新生の悦び	「社会事業の友」第149号	82-91	1941(S.16)-4	●
145	上川 豊	南支南洋の癩と台湾の癩	「社会事業の友」第152号	2-12	1941(S.16)-7	●
146	佐藤 敏	癩者の歌へる(短歌)	「社会事業の友」第152号	26-27	1941(S.16)-7	●
147	宮崎 勝雄	算盤と石黒老人(創作)	「社会事業の友」第152号	28-33	1941(S.16)-7	●
148		財団法人私立楽山園事業概要	財団法人私立楽山園発行	全9頁	1941(S.16)-7	●◎
149	村上 玉吉	謎の癩患者	「厚生事業の友」第161号	28-29	1942(S.17)-4	●
150	宮崎 勝雄	院内実話・木蔭の白百合(1)	「厚生事業の友」第163号	28-33	1942(S.17)-6	*
151	宮崎 勝雄	院内実話・木蔭の白百合(2)	「厚生事業の友」第164号	37-42	1942(S.17)-7	*
152	宮崎 勝雄	院内実話・木蔭の白百合(3)	「厚生事業の友」第165号	59-68	1942(S.17)-8	●
153	上川 豊	台湾癩事業の回顧	「レプラ」第17巻第2号	34	1948(S.23)-5	*
154	上川 豊	台湾総督府の救癩事業回顧(前編)	「レプラ」第21巻第5号	195-207	1952(S.27)-9	●
155	上川 豊	台湾総督府の救癩事業回顧(後編)	「レプラ」第21巻第6号	254-264	1952(S.27)-11	●
156	上川 豊	台湾の癩予防事業(桜井方策編『救癩の父 光田健輔の思い出』所収)	ルガル社	180-188	1974(S.49)-3	*
157	上川 豊	ハンゼン病者を守って(台湾協会編『台湾引揚史 - 昭和二十年終戦記録 -』所収)	財団法人台湾協会発行	65-67	1982(S.57)-12	●